

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)(生命理工学先端研究特論)
(医歯理工学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1. 講 師 日本デジタル歯科学会
理事長 末瀬 一彦 先生
2. 演 題 進化する歯科用 CAD/CAM テクノロジーと歯科
技工界の現状
3. 日 時 平成29年 6月 8日(木)17:00～18:00
4. 場 所 歯科棟南4階 歯学部特別講堂
5. 抄 録

デジタルデンティストリーの発展に伴って、補綴装置や矯正装置の製作に CAD/CAM テクノロジーが適用され、作業の効率化、新素材の適用、作業環境の改善などが行われている。とりわけ CAD/CAM テクノロジーのデータ取り込みとしての口腔内スキャナーや装置の製作加工における切削加工機や積層造形加工技術の進展は急速に行われ、臨床適用も一気に進む可能性がある。一方、最近の日本の歯科技工業界では新規参入者の激減、高齢化が進み、小規模ラボの増加などは海外のラボとは大きく異なる。今後、日本の歯科医療の質を保証するためには従来から行われてきたアナログ的技工とデジタル化のコラボレーションは必須である。

連絡先: 三浦 宏之(岡田 大蔵)(摂食機能保存学分野 内線5521)